

# 2024

## 台灣へ投資、 商機を共創

信賴、革新、誠意、安全、友好

- 製造業 -



2024年7月

<https://investtaiwan.nat.gov.tw>

## 概要

- 01 なぜ台湾なのか
- 02 ビジネスチャンス
- 03 投資奨励措置
- 04 投資サービス

CONTENT

# 01・なぜ台湾なのか

世界競争力第8位（アジア第3位）

2024年スイス国際経営開発研究所（IMD）『世界競争力年鑑』

経済自由度世界第4位（アジア第2位）

2024年米国ヘリテージ財団（Heritage Foundation）

優れた地理的条件

豊かな研究開発力

完備された交通網

充実した知的財産権保護制度

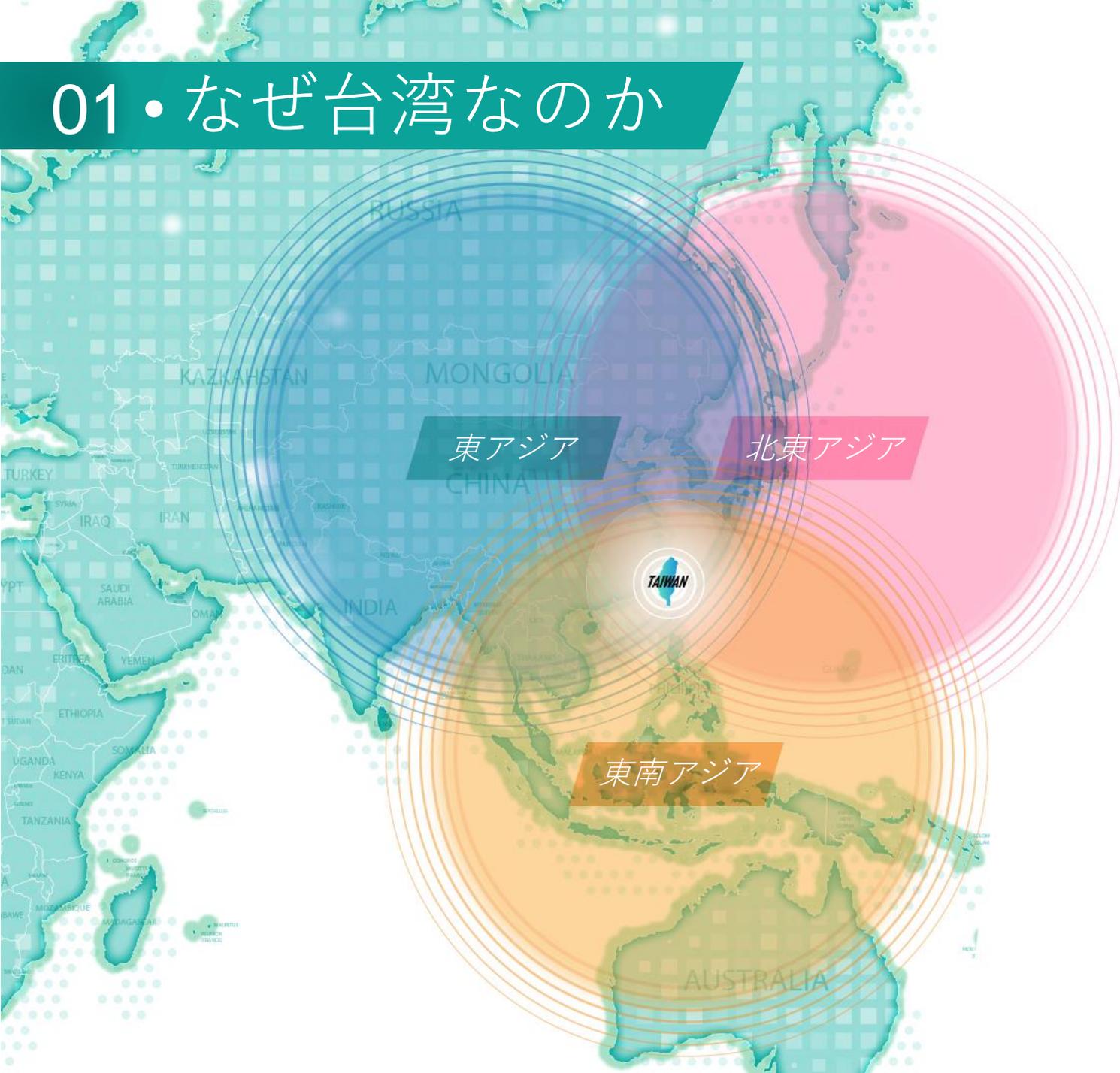
信頼性と強靱性を備えた  
サプライチェーン

優秀な人材

成熟した産業クラスター

暮らしやすい生活環境

# 01・なぜ台湾なのか

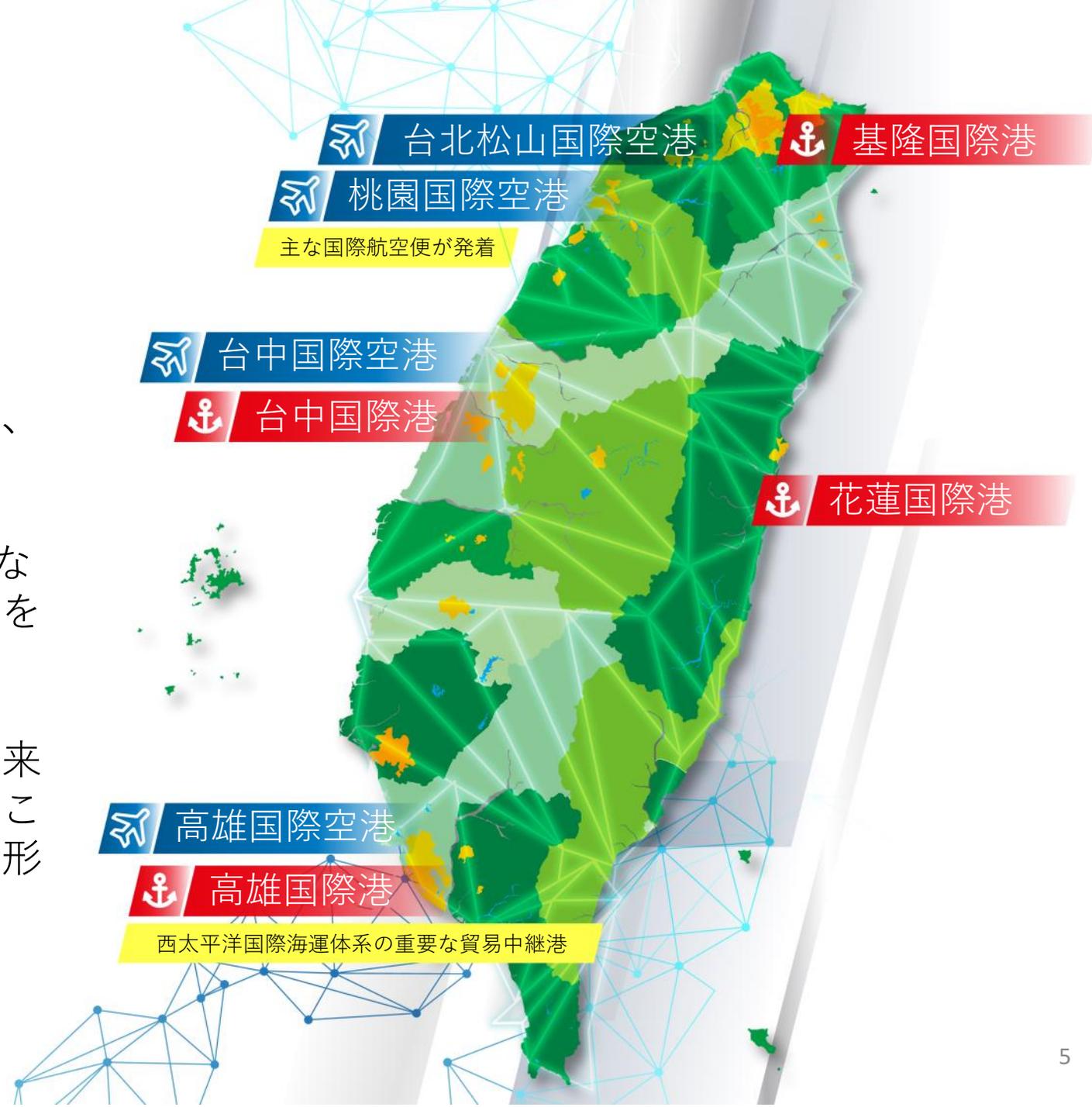


## 優れた地理的条件

台湾は東アジアおよび北東アジア、東南アジアの中心に位置し、中国、日本、朝鮮半島と東南アジア各国の経済貿易のハブとなっています。

## 完備された交通網

- 国際空港4か所、国際港4か所を有し、海運・空運交通網が整っています。
- DHL、FedEX、UPSなど国際的に著名な物流会社が台湾に物流中継センターを設けています。
- 高速鉄道（新幹線）、台湾鉄道（在来線）に他の交通システムを組み合わせることで台湾の西部地域は一日生活圏を形成しています。





## 信頼性と強靱性をサプライチェーン

### ▶ 技術の研究開発力

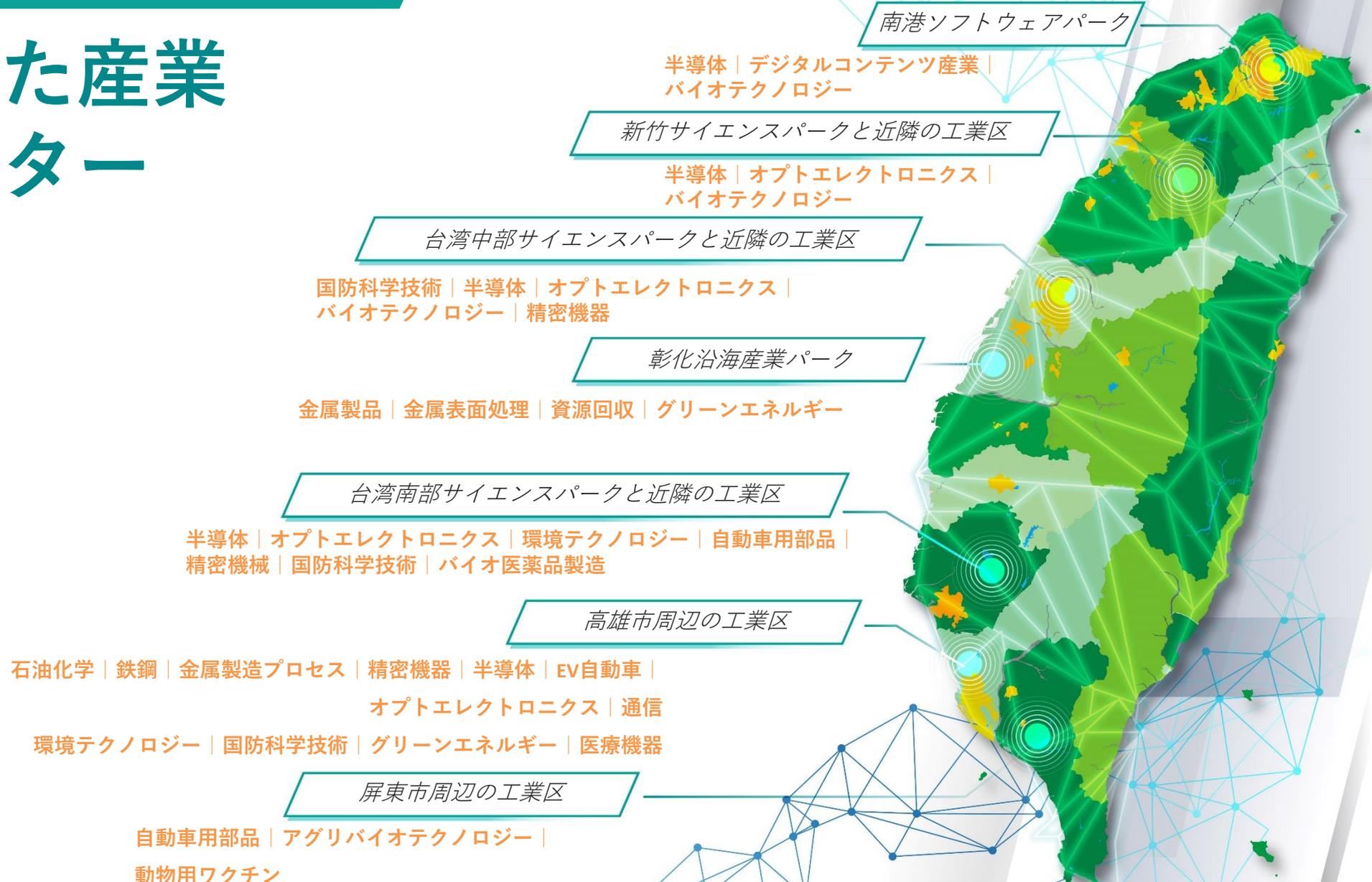
- 半導体、電子部品、情報テクノロジーにおいて世界をリードする地位にあり、在台外資企業に高水準の技術支援とサービスを提供することが可能です。
- 信頼できる医療体系、豊富な臨床資源や国家レベルの健康保険データと人体生物データベースを有しており、バイオメディカル産業発展に有利な基礎を十分に具えています。

### ▶ 強靱なサプライチェーン

- 台湾は、完全な産業クラスターを擁しており、世界のサプライチェーンと緊密に結びついているだけでなく、世界の人工知能（AI）サプライチェーンの大黒柱でもあります。と同時に、AIを発展させるための多様な産業形態と実証実験フィールドも具備しています。
- 半導体と情報通信（ICT）産業は積極的に自動化とIoTに取り組み、スマート製造を徐々に推進、生産効率と強靱性を高めています。
- チップファウンドリのクオリティは世界をリードしていますし、バイオメディカル分野の開発製造サービス（CDMO）では少量のフレキシブルな生産という優位性を有しています。

# 01・なぜ台湾なのか

## 成熟した産業 クラスター



# 01・なぜ台湾なのか

科学園区は研究開発機関の研究開発能力と結合し、産業の発展と革新を促進します

## 豊かな研究開発能力

半導体

グリーン  
エネルギー

バイオ  
メディカル

精密機器

情報通信

オプト  
エレクトロニクス

### 新竹科学園区

621社  
(2024.06)

宜蘭園区、龍潭園区、  
新竹バイオメディカル  
園区、新竹科学園区X  
基地、新竹園区、竹南  
園区、銅鑼園区

### 台中科学園区

235社  
(2024.06)

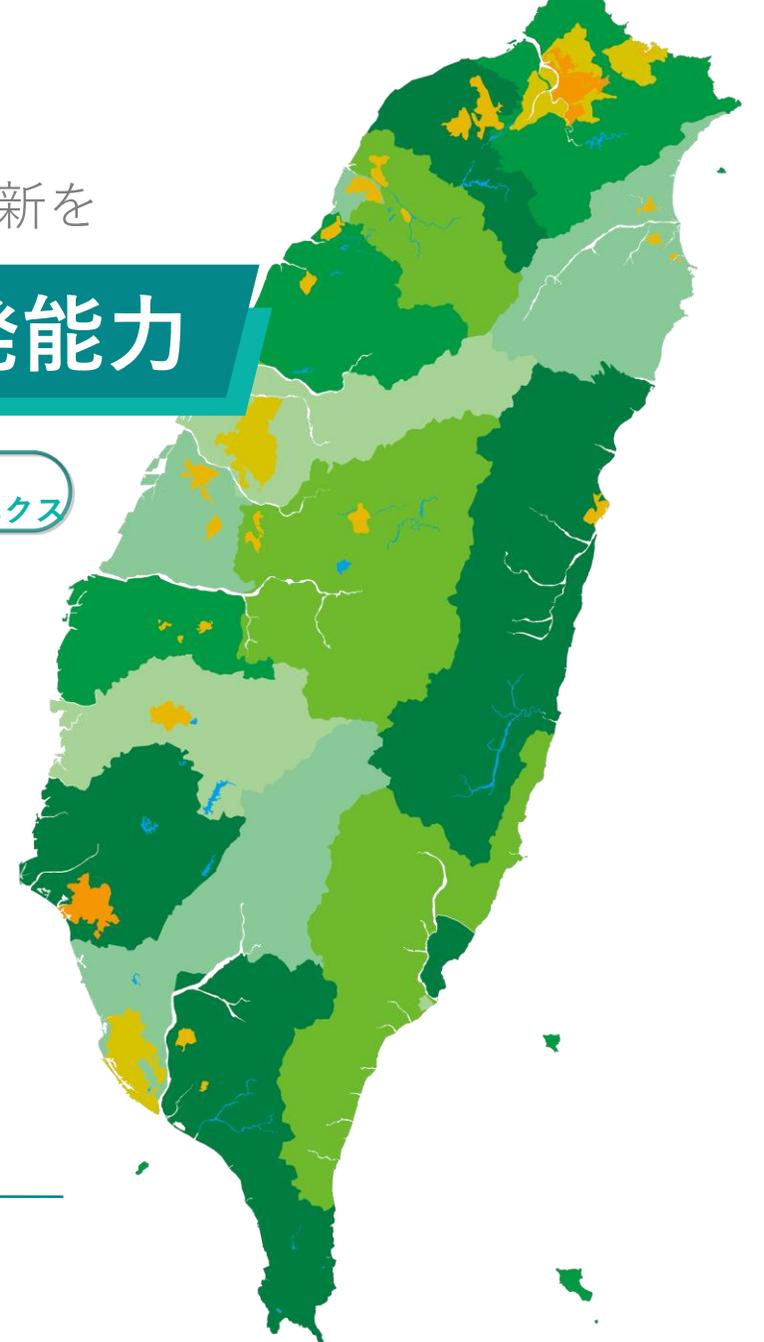
后里園区、台中園区、  
中興園区、虎尾園区、  
二林園区

### 台南科学園区

273社  
(2024.06)

嘉義園区、台南園区、  
高雄園区、楠梓園区、  
橋頭園区、屏東園区

5大信賴産業・重点発展産業 18か所の園区・基地



# 01・なぜ台湾なのか

## 充実した知的財産権保護制度

### 整備された法規

2021年7月1日より「商業事件審理法」と「知的財産および商業裁判所組織法」を施行、専門の裁判官と調査官を設けましたので、案件処理の効率が向上しています。

### 多数の国と特許審査ハイウェイ（PPH）を構築

台湾は米国、日本、韓国、ポーランド、スペイン等の国とPPHを締結しており、より迅速に特許案件を審査できます。

### 知的財産権・商業裁判所を設置

### 知的財産権保護警察大隊を設立

### 世界から認められている経済自由度

2024年、台湾は世界184の国と地域を対象にした経済自由度調査で4位にランクイン、史上最高得点を記録しました。多数の指標（法律制度、政府規模、規制の効率、財産権、司法の効率性等）は、台湾が知的財産権が高度に保護される投資環境であることを示しています。





## 2023年IMD世界人材 レポートランキング

- 台湾は世界第**20**位、アジア第**3**位
- 人口千人あたりの研究開発人員世界第**1**位
- 25-34歳人口で高等教育を受けた比率世界**3**位

## 2023年度における人材の教育水準

- 人材準備度世界第**19**位
- 理科系卒業生の割合世界第**7**位
- 教育アセスメント世界第**8**位



# 01・なぜ台湾なのか

## 暮らしやすい生活環境

## 2023外国人駐在員 調査ランキング（イン ターネーションズによる）

- 最も暮らしやすい国家世界第**5位**、アジア第**2位**
- 健康と福祉世界第**1位**
- 生活の質世界第**2位**
- 交通と運輸世界第**3位**

資料出典：Inter Nations（2023）

<https://www.internations.org/expat-insider/2023/best-and-worst-places-for-expats-40353>

半導体、人工知能、軍需、セキュリティ管理、次世代通信の「五大信賴産業」の発展を積極的に推進し、台湾を技術製造大国からAI運用とソリューションの輸出国に変えます。

### 2025年の科学技術予算を増額：総予算の14.9%に

- 半導体に170億台湾ドル、AI分野に100億台湾ドル、宇宙通信に100億新台幣ドルの予算を編成しています。
- 五大信賴産業助成予算は、220億台湾ドル近くになります。

### 政策、法規、執行各方面での対応

- 台湾AI行動計画2.0（2023年～2026年）
- 2028年までにAI人材20万人の育成、外国人専門人材12万人の招聘を目標とするAI人材競争力飛躍プランを策定しました。

# 02・ ビジネスチャンス

## Semiconductor



世界で最も完備された半導体産業  
サプライチェーンを保有  
先端的な製造プロセス、通信応用、  
AIチップ、ハイパフォーマンス・  
コンピューティングのニーズが  
発展のエネルギー

## Electric Vehicle



ICT産業の中核である製造とクラスターを  
強みとしてEVシステム統合サプライ  
チェーンに参入

## Precision Health



半導体、ICTと精密機器産業を基礎にスマート  
メディカルとバイオテクノロジー医療器材の  
CDMOモデルを発展

EV電気  
自動車

プレジジョン・  
ヘルス

半導体

循環経済

グリーン  
エネルギー

## Circular Economy



台湾政府のプラスチック減少推進目標：  
2025年に再生プラスチック使用率25%を  
実現  
2030年に再生プラスチック使用率35%を  
実現

## Green Energy



台湾政府が進める第二次エネルギー転換の目標：  
2026年再生可能エネルギー発電比率20%を達成  
多様なグリーンエネルギーの開発、さらなる省エ  
ネの呼びかけ、技術を駆使した蓄エネの推進、強  
靱な電力システムの構築

## 02・ビジネスチャンス 半導体 台湾の優位性と世界での地位

**2023年**

半導体産業の総生産高は**4.3兆新台幣ドル**に達した

**2030年**の総生産高は**6兆新台幣ドル**に上ると予想

ファウンドリ  
パッケージング・  
テスト産業市場  
シェア

**世界1位**

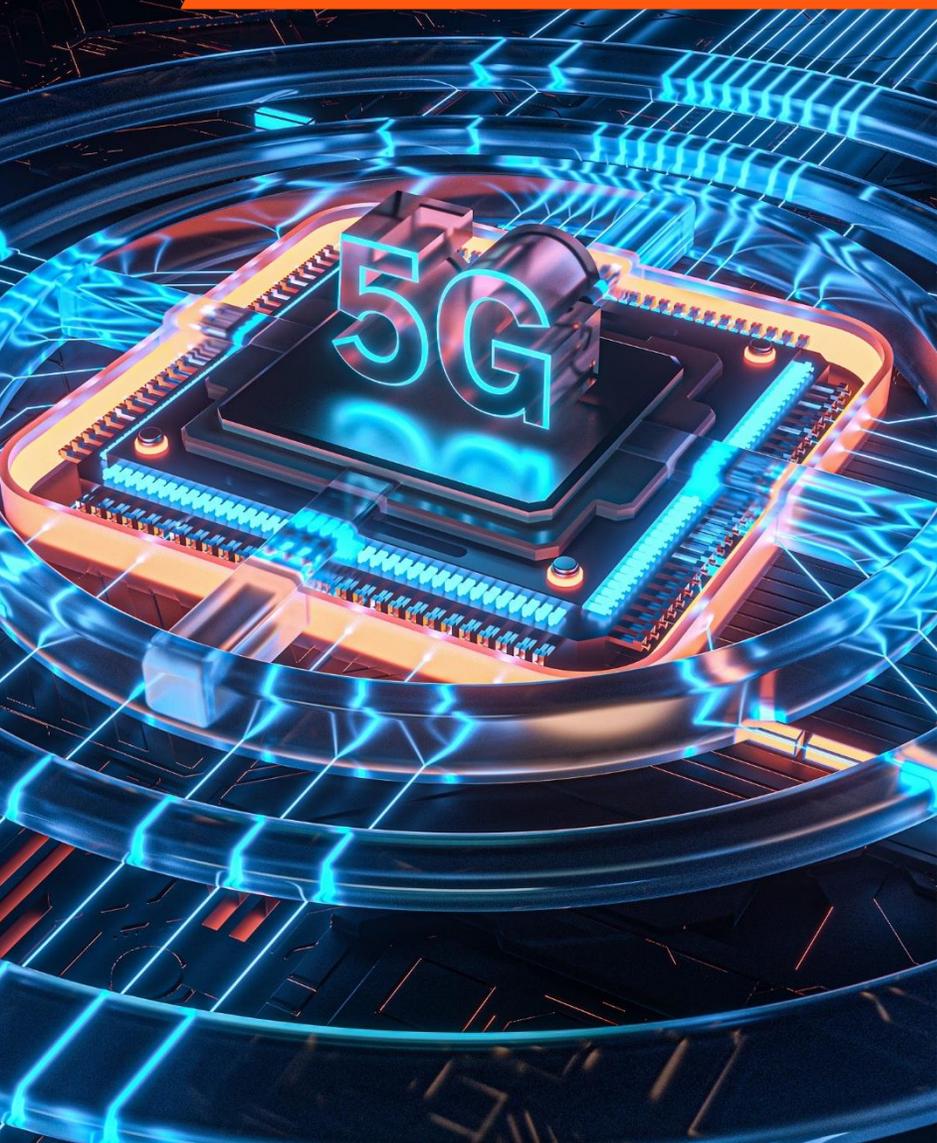
IC設計産業  
市場シェア

**世界2位**

2023年台湾半導体  
産業生産高総額

**世界2位**

台湾は世界の半導体産業のリーダーを担い続け、周辺のサプライチェーンに膨大な市場ニーズをもたらしている。



### 半導体素材

- 2023年世界市場売上高は667億米ドルに達しました。うち、ウェハー材料は415億米ドル、パッケージング材料は252億米ドルです。
- 2023年、台湾市場は売上高が192億米ドル、連続14年世界最大の半導体材料消費市場です。

### 半導体生産装置

- 2023年世界売上高は1,063億米ドルに上りました。
- 2023年台湾の売上高は196億米ドルで、世界第3位です。

### 端末の新興アプリケーション

- AI高性能計算、5G/6G、EV、充電スタンドおよびサーバー等キーマーケットの長期的な成長エネルギーと革新へのニーズにより、ウェハーメーカーは生産能力の向上を継続的に推進、その影響は強いものになっています。

## 02・ ビジネスチャンス 半導体

先進的な製造プロセス  
通信アプリケーション  
高性能計算

ビジネスモデル

台湾半導体産業成長の三大主要動力

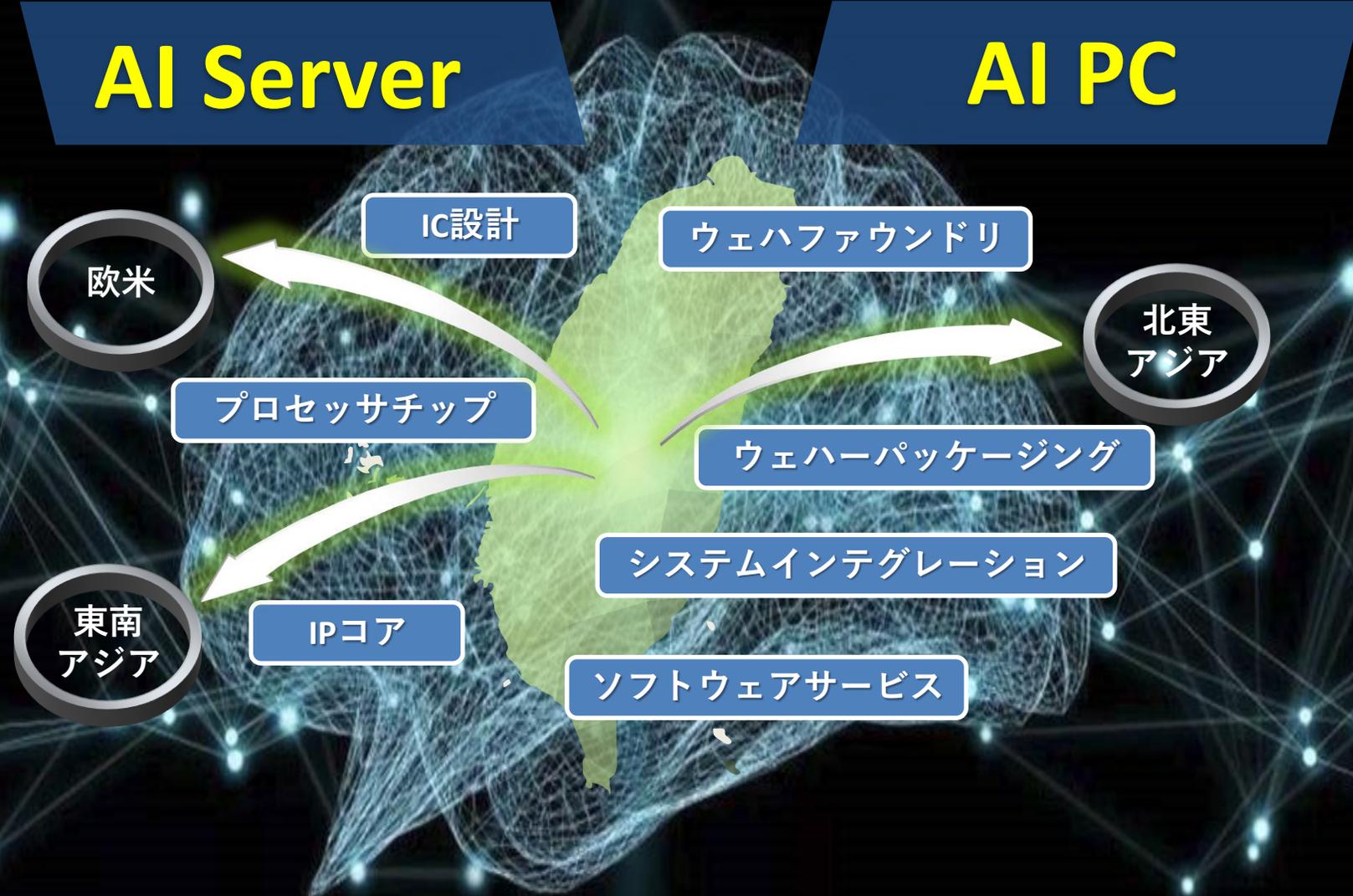
- 「先進的な製造プロセス」－政府は外国企業に対して設備製造の現地化、基幹技術の台湾定着と国内企業との協力、第3世代半導体市場の規模拡大とパッケージング技術の向上を促すことで、技術のグレードアップと応用の統合を同時進行で推進、台湾を「半導体の高的な製造プロセスセンター」と「アジアのハイエンド製造センター」にすることを目指しています。
- 「通信アプリケーション」－半導体市場の売上高の40.7%を占めます。5G/6Gチップは通信技術の発展を促進します。低軌道衛星、V2X通信システム、自動運転、スマート製造等の応用が含まれます。
- 「高性能演算」－AI関連の技術開発とニーズは非常に強く、高性能計算チップの応用を生み出し、生成AI、データセンター、EV、スマート医療等応用分野にビジネスチャンスをもたらしました。

# 02・ビジネスチャンス半導体/AIスマートアイランドの構築

完全なAI産業サプライチェーンを構築し、AIチップ生産クラスターを発展させる

## AI Server

## AI PC



### 市場のニーズ

世界がAI分野の発展に注目し、AI PCとAI Serverが今後の発展の二大動力となっています。

- 2027年AI PCの世界市場は1.67億台に達すると予想されています。
- 2025年AI Server世界市場は236.4万台に上り、2027年には320.6万台に達すると見込まれています。

資料出典： 資工産研(IEC)、International Data Corporation (IDC)

### 投資の優位性

- 台湾AI産業のサプライチェーンは産業のレジリエンスとクラスターの優位性を備えています。
- 世界をリードする半導体製造プロセス技術と先進的なシステム統合サービスの能力を持つ台湾は、世界のIC設計企業、半導体設備企業、材料サプライヤーと緊密に提携、共同で先端技術の研究開発を行い、新たな動向とビジネスチャンスを掌握し、コア・コンピタンスを強化することができます。



世界AIチップ設計のトップ企業が台湾で継続的に投資を拡大

アメリカの輝達（NVIDIA）は、2021年に約243億台湾ドルを投じて台湾にAI研究開発センターを設立、スーパーコンピューター「Taipei-1」を設置しました。2023年にはアジア太平洋物流センターを設け、台湾で組立てた製品を世界市場へ直接送ります。



アメリカのエッチング設備トップ企業が台湾にハイエンド製造プロセス研究開発センターを設立

アメリカのラムリサーチ（Lam Research）は2023年末に台湾にハイエンド製造プロセス研究開発センターを設立し、「台湾で供給」、「台湾で育成」、「台湾で研究開発」の3つの目標を実践することを宣言しました。



オランダの半導体大手メーカーが2ナノウェハー測定設備への投資を拡大

オランダのASMLは、2022年末、台湾での投資を増加させることを発表しました。第一期の投資額は300億台湾ドルに達し、約2,000名の従業員が勤務、台湾の半導体ハイエンド製造プロセスのサプライチェーンをさらに強化します。



ドイツの大企業が100億台湾ドルを投じて台湾に半導体Mega Siteを建設すと公表

ドイツのメルクグループ（Merck Group）は2021年に5年以内に台湾で170億台湾ドルを継続的に投資し、世界初の大型半導体材料サイエンスパーク（Mega Site）を建設すると宣言、半導体の先端製造プロセスのキープロダクトラインを導入します。2025年までに次々に生産に投入される見込みです。

IC foundry NO.1

IC Package NO.1

IC design NO.2

LCD NO.3

発展を続ける自動車用半導体  
エコシステム



先進的な合金車体用材料 ソフトウェア・  
ハードウェアの革新的な統合



# 台湾の優位性と世界での 地位

## ソフト・ハードウェア統合設計とイノベーション

台湾は蓄エネシステム、電気エネルギー制御モジュール、車載テレマティクスシステム等の分野で高いイノベーション能力を有し、世界的なEVスタートアップ自動車メーカーのニーズにマッチします。

## 充実した自動車用半導体産業サプライチェーン

台湾の世界市場シェアはICパッケージング、ウエハーファウンドリ、PCBで第1位、IC設計、IC基板は第2位、パネルは第3位です。世界的に車両が電動化、スマート化、ネットワーク化に向けて発展していることへ対応するため、台湾の企業は長期にわたりパワーデバイス、自動車用メモリ、ネットワークプロセッサ、そして関連する炭化ケイ素、窒化ガリウム等の化合物半導体製品の各分野で事業を展開しており、自動車用半導体産業の発展に有利になっています。

## 先進的な合金車体用材料

国内に車体用材料サプライチェーンが完備、材料、板金材から関連するサブシステムのデバイスまで、超強力鋼、アルミニウム、マグネシウム、チタン合金等の先進的合金と高性能プラスチック、炭素繊維強化材料等を比較的重量のあるEV向けに開発しています。

## 成長のエネルギー

### 世界のEV成長トレンド

勤業衆信(Deloitte Taiwan)が2023年に発表したレポートによると、世界のEVの今後10年の年間成長率は29%に達し、総販売台数は、2020年の250万台から2030年には3,110万台に増加すると予想されています。2030年、電気自動車市場の浸透率は30%を超える見込みです。

### 台湾カーエレクトロニクス生産額の成長は最速

過去5年間の生産能力の年成長率は13%で、2025年のカーエレクトロニクス生産額は5,726億台湾ドルまで伸びると推定されています。2030年、カーエレクトロニクス部品が台湾の部品輸出全体に占める割合は50%と予想されています。台湾メーカーは自動車用品市場に焦点を定めて積極的に展開しており、将来徐々に成果を見せると考えられます。

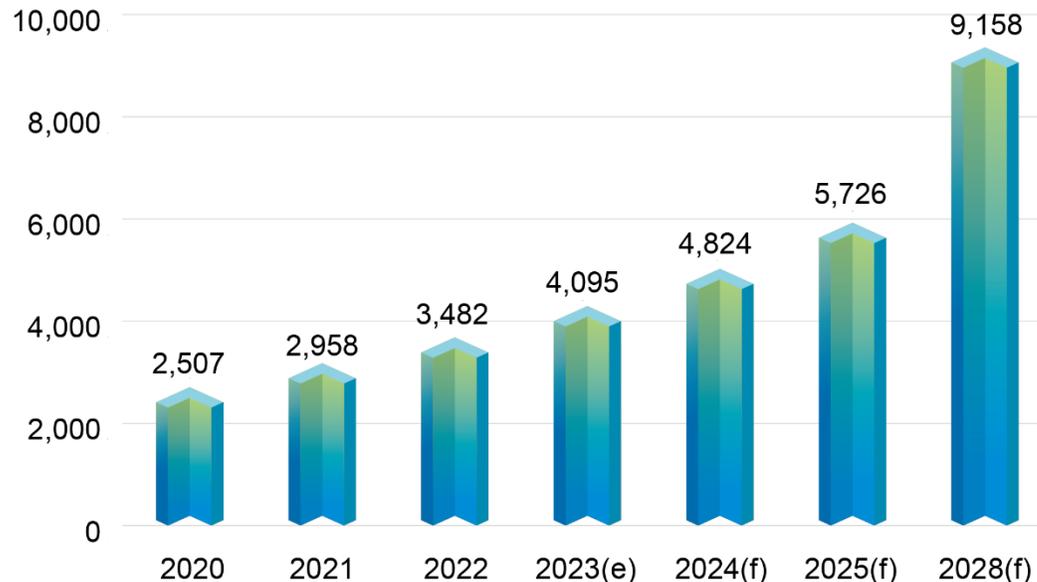
### AI技術の進展がもたらすEVのデジタルトランスフォーメーションニーズ

AI技術がV2Xとスマート運転技術の発展を促進し、そのため先進的なセンシング機能、認知・意思決定、スマート障害物回避、自己学習の技術に対するニーズが増大しました。台湾は車両とIT産業の集積地として、将来業界にイノベーション・パワーを注ぎ続けます。

### 台湾カーエレクトロニクスの生産高

(億台湾ドル)

(億元新臺幣)



資料出典：財団法人工業技術研究院産業科技国際戦略発展所（2023/10）

2023年の台湾のカーエレクトロニクス生産額はおよそ4,095億台湾ドルです。  
2028年には生産額が倍増して9,158億台湾ドルに達し、年間成長率は14%になると見込まれています。

# ビジネスモデル

- 国内の多数のIC設計企業は、長期にわたりパワーデバイス、自動車用メモリ、ネットワークプロセッサ事業を展開してきました。各自動車メーカーのスマートコックピット、通信システム等の新しい応用分野に進出しており、多機能ICの「システム統合」を進めることが、ブランドメーカーのサプライチェーンに参入する重要な要素になるでしょう。
- AIの高性能計算、電力駆動、先進的な運転支援システムは世界の3大ニーズです。台湾内にはこれらすべてに単一の部品のみを提供するサプライヤーが存在、将来はシステムモジュールとして統合することで、世界の自動車メーカーのTier1（システム企業）となり、スタートアップ企業や国際的な自動車メーカーの台湾投資を誘致することが可能です。
- 近年、地政学的な政治リスクに影響され、安全なサプライチェーンを構築する必要性、地域化、サプライチェーンの短縮化の傾向が目立っています。台湾は国際自動車メーカーの地域供給センターの1つ、重要部品のバックアップ生産基地や供給元として機能することができます。

Electric  
Vehicle



## 自動車用半導体大手メーカーが自動車用IC生産ラインを拡充し、台湾企業との研究開発提携を拡大

オランダのNXPセミコンダクターズは2022年に自動車用新製品試験研究開発センターを台湾に設置したのに続き、2023年には高雄楠梓工場の自動車用IC生産ラインを拡充、さらに台達電 (DELTA)、鴻海 (Hon Hai)、英業達 (Inventec)、和碩 (PEGATRON)等台湾企業との自動車用製品共同研究開発を拡大しています。



## 自動車用チップのトップ企業が台湾に先進自動車及び無線通信用半導体研究開発センターを設立

インフィニオン・テクノロジーズ (Infineon) は、2024年、最新の自動車用Bluetoothチップ技術を台湾に移転し、「先進自動車及び無線通信用半導体研究開発センター」を開設、無線バッテリー管理システム、次世代スマートコックピット、スマート自動車ドア開閉管理システム等の応用ソリューションについて台湾の完成車メーカー、カーエレクトロニクス企業、学術研究機関との共同研究開発を強化することを宣言しました。



## 聯発科がAI大手メーカーの輝達と共同で自動車コックピット用OSを開発

輝達 (NVIDIA) は、2023年、聯発科 (MediaTek) と提携して、AIと聯発科の強みであるマルチメディア、モバイル通信、ネットワークコミュニケーションを結合し、様々なスマートコックピット搭載車用チップセットを開発、マルチモニター表示、ドライバー集中度センシング等先進的なAIセキュリティおよびエンターテインメント・アプリケーションを提供し、共同でEV用チップ市場に進出する決意を示しました。

## 02・ビジネスチャンス プレジジョン・ヘルス

分野を超える産業、付加価値  
クラスター

情報通信技術（ICT）、半導体とバイオメディカル（BIO）クラスターが完備、分野を超えて統合すれば、プレジジョン・ヘルス産業発展の基礎になります。

アジア太平洋市場の機先を  
制する

アジア太平洋地区は高齢化と経済発展により医療費の支出が大幅に増加しています。台湾のバイオメディカル環境は充実していますし、かつ地理的にアジア太平洋の中心にあります。

## 世界と一体化する重点分野

情報通信技術（ICT）、半導体および精密加工産業は世界で重要な地位を占めており、ハイグレードな医療用センサーチップ、AIコンピューティングやビッグデータ解析等プレジジョン・ヘルス（予防、診断、治療、ケア）の発展にマッチしています。また医薬品の開発製造受託サービス（CDMO）により大手医療器材メーカーのサプライチェーンに参入します。

2025目標

300億米ドル  
生産高

20新薬の国外発売  
をサポート

80 高付加価値医  
療器材の国外発売

10ヘルスケアサー  
ビス旗艦ブランドを  
育成



## スマート医療

- 世界保健機関（WHO）は、「スマート医療」を医療・介護、疾病管理、公共衛生モニタリング、教育、研究分野への応用と定義しています。2023年から2030年まで12.8%の年平均成長率で拡大、2030年に市場規模は3,852億米ドルに達すると見込まれています。
- 2022年の台湾のスマート医療の売上高は約502億台湾ドルで、2021年比で10.1%増加しました（医療機器、健康福祉産業の売上高は除く）。製品はスマート予防、スマート診断、スマート療法、遠隔医療、医療情報システムの5分野に及んでいます。

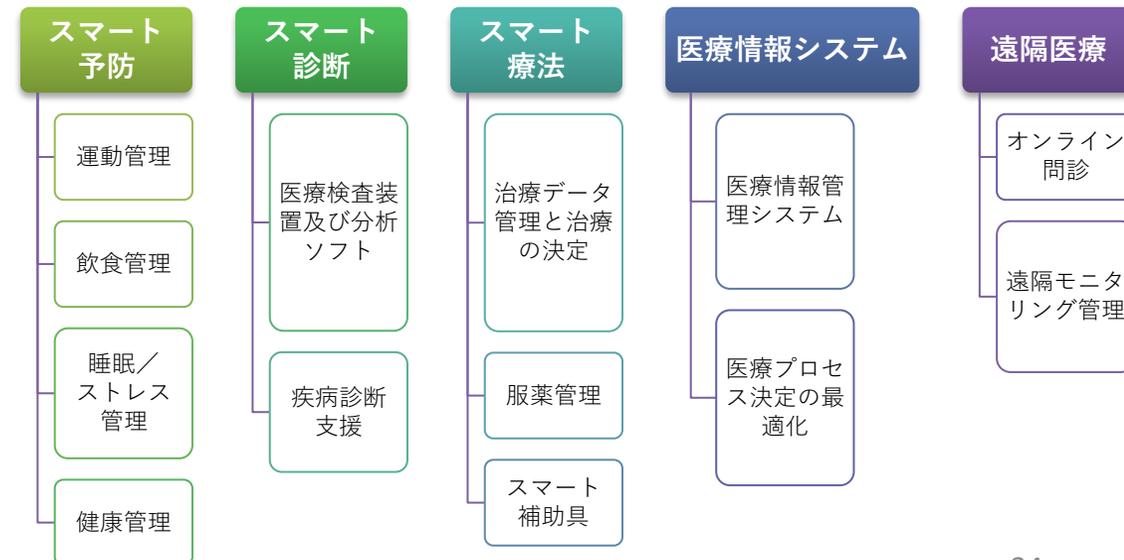
資料出典：Grand View Research（2022/06）

資料出典：財団法人工業技術研究院産業科技国際戦略発展所（2023/11）

## バイオ医薬品製造CDMO

- 2023年の世界医薬品CDMO市場は約1,462.9億米ドルで、2033年には2,959.5億米ドルに増加、2024年から2033年までの年平均成長率は7.3%と予想されています。
- 優れた臨床研究開発能力に加え、電子及び半導体産業の製造能力を蓄積してきた台湾は、革新的で先進的な製造技術力、規模の経済、速度等という強みがありますので、世界のCDMOでビジネスチャンスを獲得したり、外国企業を誘致して提携したり、医薬品研究開発センターを設置するのに有利です。
- 台湾は政策により企業のCDMO産業参入を奨励しています。2021年、最新版の「バイオテクノロジー医薬産業発展条例」を公布、「医薬品開発製造の受託（CDMO）」をその対象に含めました。「医薬品開発製造受託企業（CDMO）」には、当年度の営利事業所得税の5%減免か、もしくは3年にわたり毎年3%の減免が適用されます。この優遇措置は2031年末まで有効です。

資料出典：Biospace（2024/04）



資料出典：財団法人工業技術研究院産業科技国際戦略発展所（2023/11）

## 02・ビジネスチャンス プレジジョン・ヘルス / ビジネスモデル



- 台湾スマート医療推進の四大方向：「電子カルテ及び医療画像転送」、「病院の情報セキュリティ」、「遠隔ヘルスケア・介護」、「健康データベースの付加価値応用」。
- 台湾の医学センターはビッグデータ解析、人工知能、3Dプリンティング、VR/AR、ブロックチェーン、クラウドといった技術を積極的に運用し、モバイルヘルスと医療のIoTを確立、さらにウェアラブルデバイス、ロボット、ハイエンド測定装置等を導入しています。
- 台湾の情報通信技術(ICT)、半導体、バイオメディカル (BIO) の産業チェーンは完備されていますので、国際的な医療器材メーカーとハイグレードかつ特殊製造プロセスCDMOで提携して、国際サプライチェーンに参入することができます。

## RESILIENCE



台湾のバイオ医薬品メーカーとアメリカのナショナル・レジリエンス社が提携して世界CDMO市場に進出

2024年、台湾生物医薬製造株式会社(TBMC)はアメリカのナショナル・レジリエンス社から、生物学的製剤、ワクチン、mRNA核酸医薬、細胞治療、遺伝子治療の5大先端製造プロセスのライセンスを取得しました。2026年にmRNA核酸医薬製造の実験室等級をGMPレベルに引き上げて量産する見込みです。



インテルが台湾で高速計算AI情報センターを設置し、スマート医療での使用を推進

インテルは長庚病院と協力して「高速計算AI情報センター」を設立、医療AI、遺伝子医学、幹細胞、癌等実験室に高速計算サービスを提供しています。2022年に台湾の18企業・医療機関と国際提携し、グローバルビジネスを強化しました。



医薬品輸送システムのトップであるSHL Medicalが台湾にグローバル生産製造工場を建設

瑞健医療(SHL Medical)は台湾にグローバル生産製造工場を建設しました。台湾の従業員数が世界全体の従業員に占める割合は90%を超えます。業績が継続的に伸び、それに合わせて生産能力を拡大するため、桃園市蘆竹区六福路に高度自動化工場を設立しました。

# 02・ビジネスチャンスグリーンエネルギー ネットゼロへの転換

スマートシェアリング確立のためのグリーンエネルギー戦略、電力脱炭素化の加速

2024年4月の総発電容量はわずか約12.9GWで、2026年の目標発電容量は20GWです。

2024年4月、台湾の洋上風力発電の総容量はすでに2GWを超過、2031年は9GWに達し、2035年には15GWに上る予想です。

2024年4月の地熱発電量は7MWに達しました。発電容量は2025年に20MW、2030年には192MWに達する見込みです。

資料引用元：再生能源資訊網、国立台湾大学風険社会與政策研究中心

[https://www.re.org.tw/information/statistics\\_more.aspx?id=6971](https://www.re.org.tw/information/statistics_more.aspx?id=6971)

<https://rsprc.ntu.edu.tw/zh-tw/m01-3/en-trans/open-energy/1837-2023open-renewable.html#tab-2>

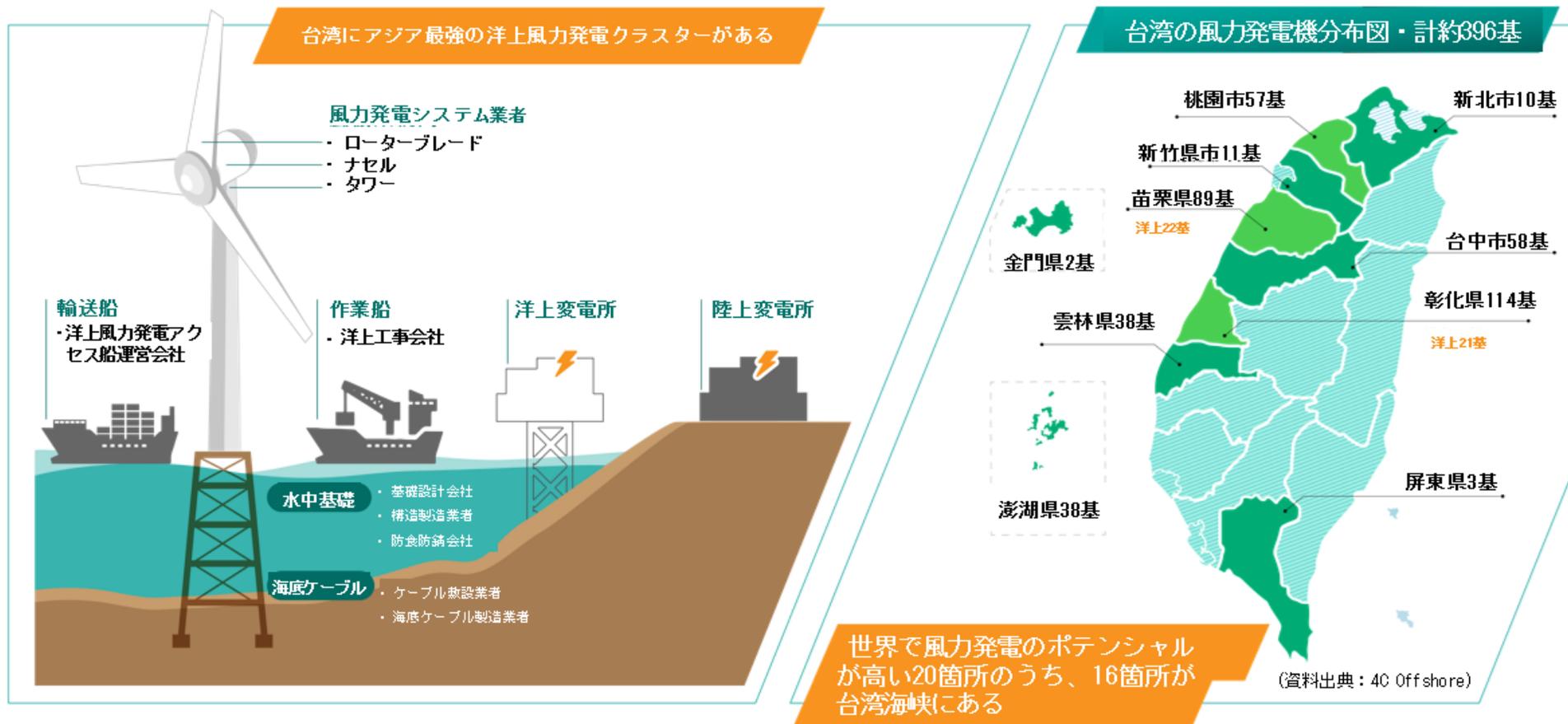


台湾の海洋エネルギー発電技術は海流発電、波浪発電、海洋温度差発電で、2030年に0.1~1MWのモデル発電ユニットを設置、2035年に商業化し、1~10MW発電ユニットの運営を開始する見込みです。

2024年4月のバイオマスエネルギーの総発電容量は749MW（バイオマスエネルギー発電83MW、廃棄物発電666MW）で、2030年はバイオマス・廃棄物両発電の合計目標発電容量が805-1,329MWに達する予想です。

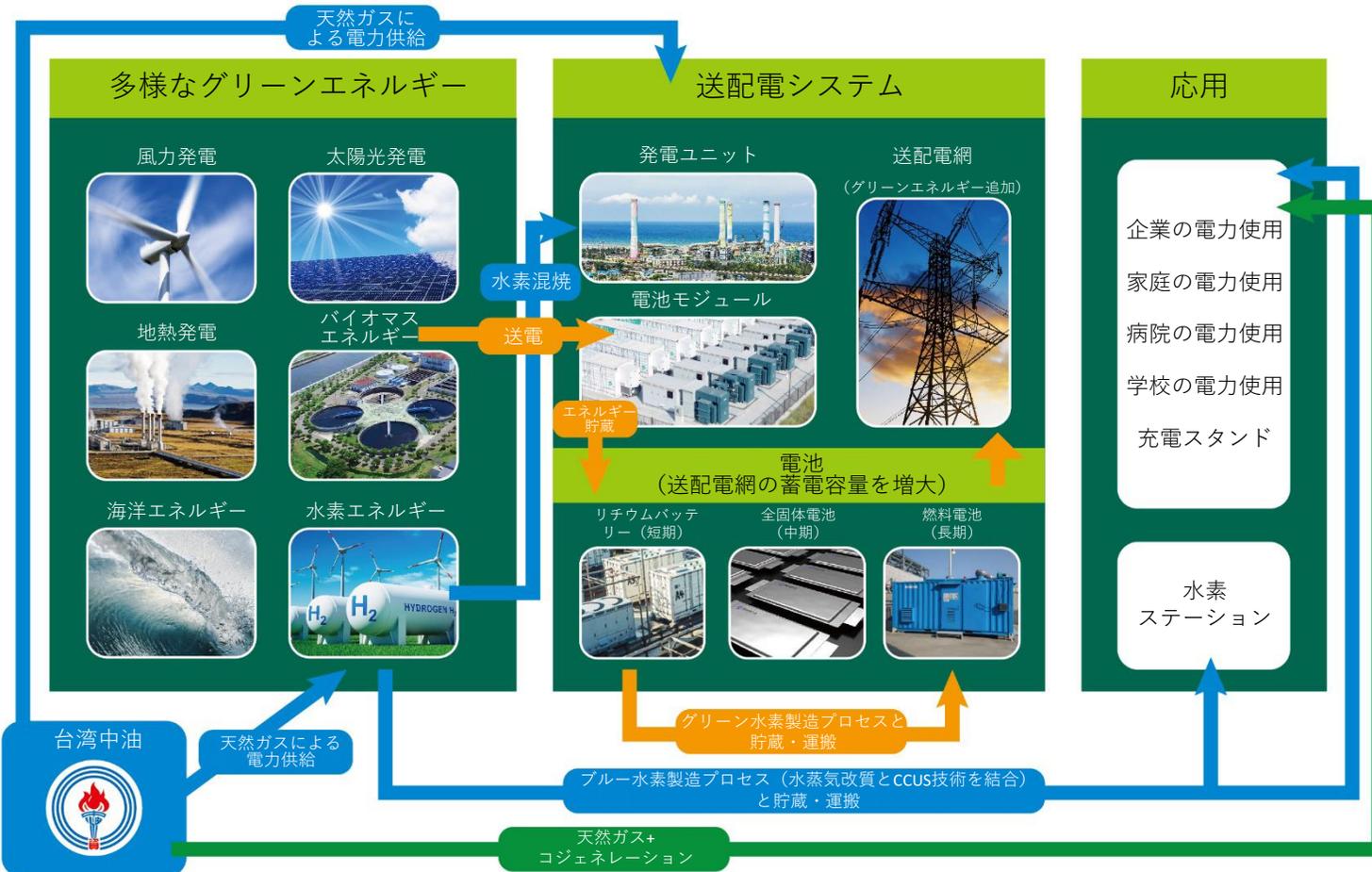
輸入、貯蔵、計量、輸送のインフラ設備を含め、国内と国外の水素エネルギーサプライチェーンを連結します。2030年に混焼、製鋼製造プロセス、水素エネルギー運搬手段、水素スタンドの配置が完了します。

- 2023年末には既に風力発電ユニット283台が設置され、総発電容量がアジア太平洋地区で最高の**2.25GW**に達しました。2024年末には設置台数が314~374台に増加する予定で、総発電容量は**2.56~3.04GW**を見込んでいます。2025年の目標は総発電容量**5.6GW**達成です。
- 台湾の風力発電の発展は「ブロック開発段階」に入り、送電期間は2026~2031年で、2年ごとに3GW配電し、2032~2035年は6GW配電、計**15GW**を提供します。



# 02・ビジネスチャンス グリーンエネルギー ビジネスモデル

## 第二次エネルギー転換は外国企業にとって投資のチャンス



## 国内エネルギーの転換商機

1. エネルギー技術サービス業界 (ESCO) と外国企業の技術協力により、企業の低炭素化と省エネの実現をサポート、指導します。
2. 外国企業との連携により、生産、貯蔵・運輸、応用 (例：水素混焼、水素ステーション) を含む国内のグリーン水素とブルー水素のサプライチェーンを構築します。
3. ツイントランスフォーメーション (デジタルトランスフォーメーション×サステナブルトランスフォーメーション) を強化し、蓄エネにおいて外国企業の全固体電池、燃料電池システムと結合し、グリーンエネルギーによる長期安定送電を確保します。
4. 外国企業は多様なグリーンエネルギーインフラに投資、自社の蓄エネ技術を運用し、余剰電力を台湾の送配電網 (台湾電力など) に販売することができます。

資料出典：グリーン取引情報ネット-水素エネルギー産業マップ



## 洋上風力発電の一里塚、当地で国産化が定着

2024年4月、デンマークのベスタス（VESTAS）社は上緯国際(Swancor)、華新麗華(Walsin Lihwa)等台湾国内のパートナーと提携し、彰化県沿海にある中能ウインドファームに国産のブレード、組立てナセル、ハブ等の重要な部品を提供、同ウインドファームを台湾で最も現地化されたファームにしました。



## オーステッドと台湾汽電共生が提携して洋上風力発電所を建設

2023年5月、オーステッド社は台湾汽電共生（TCC）と共同で総発電容量920MWの洋上風力発電所の設置に取り組みました。2025年末に完成する予定で、台積電（TSMC）がサプライチェーンのパートナーとして20年間電力を全面購入することを約束しました。



## 世界的な風力発電機メーカーがアジア太平洋地区洋上風力発電機輸出センターを設置

シーメンス・ガメサ社はヨーロッパ以外で唯一のナセル組立工場を台湾に建設しました。第二期工場の拡張工事は2023年末に完了し、2024年第2四半期に生産を開始する予定です。また当地のサプライヤーと共同で台湾をアジア太平洋地区ナセルのハブにするために取り組んでいます。



#台湾の再生プラスチック原料企業は約170社



#世界の再生ポリエステルは1/4は台湾から

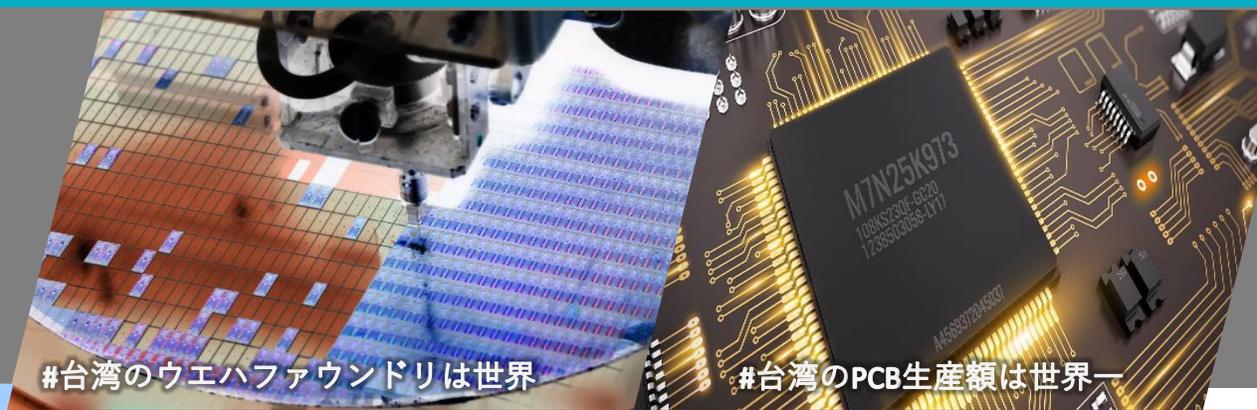
## プラスチックの再利用

台湾政府は長年プラスチックのリサイクルを推進

- 2025年に再生プラスチック使用率25%を実現
- 2030年に再生プラスチック使用率30%を実現

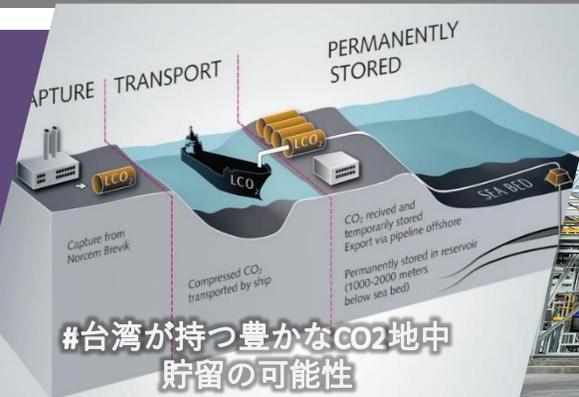
## 貴金属の回収

貴金属廃棄物の回収と再利用  
機能性素材、半導体製造プロセスのフィルム素材の研究開発製造に使用します



#台湾のウエハファウンドリは世界一

#台湾のPCB生産額は世界一



#台湾が持つ豊かなCO2地中貯留の可能性



#「CO2回収及び有効利用」先導モデルエリア

## CCUS技術の応用

- 中油、台湾電力、台塑（台湾プラスチック）3社は投資先の現地調査と評価業務を行い、台湾CCUS技術と産業化の基礎を築いています

世界経済フォーラム（WEF）の2023年1月発表によると、2030年の世界循環型経済の生産額は4.5兆米ドルに達する予想です。2023年の台湾廃棄物回収産業の市場規模は約59.9億米ドルで、2028年には81.30億米ドルに達し、年平均成長率は約5.2%となると見込んでいます。現在、台湾の家庭ごみと事業ごみの回収率は50%を超え、産業廃棄物回収率はさらに高く77%に達し、世界をリードする国家の1つです。

資料出典：Recycle Track Systems

### 生産の各段階で全面的に回収・再製造可能を目標



**材料の選択**  
Material Sourcing



**修理 / 再使用**  
Repair / Reuse



**商品の設計**  
Product Design



**再生 / 再製造**  
Refurbish / Remanufacture



**製造プロセスの最適化**  
Process Optimization



**分類 / 収集**  
Separation / Collection



**副産品の資源化**  
By-product Recovery



**リサイクル**  
Recycle



資料出典：財団法人資源循環台湾基金会 <https://circular-taiwan.org/>

台湾半導体産業の廃棄物はシリコンウエハー工場とウエハーファウンドリー（70%）、パッケージング・テスト工場（20%）、その他（10%）から排出されます。



## 世界の1/4の再生ポリエステルは台湾から！

- 台湾の機能性テキスタイルは世界市場で50%のシェアを占めています。
- 台湾は、廃棄物の回収分類から再生加工までサプライチェーンが完備しています。外国企業の先進技術により再生ポリエステル繊維やペレットの品質を向上させてることが可能です。
- 廃棄物の回収と再利用を促進し良好な投資機会を提供するために、台湾政府は既にネットゼロへのロードマップと厳格な環境保護関連法規を制定しています。

資料出典：環境省資源循環庁、中華民国紡織業拓展会

### 台湾政府の政策：

- 2025年に再生プラスチック使用率25%を実現
- 2030年に再生プラスチック使用率30%を実現
- 検査に合格すると環境保護マークを獲得し、回収費用に関して優遇措置を受けることができます

資料出典：経済省／産業循環経済情報プラットフォーム

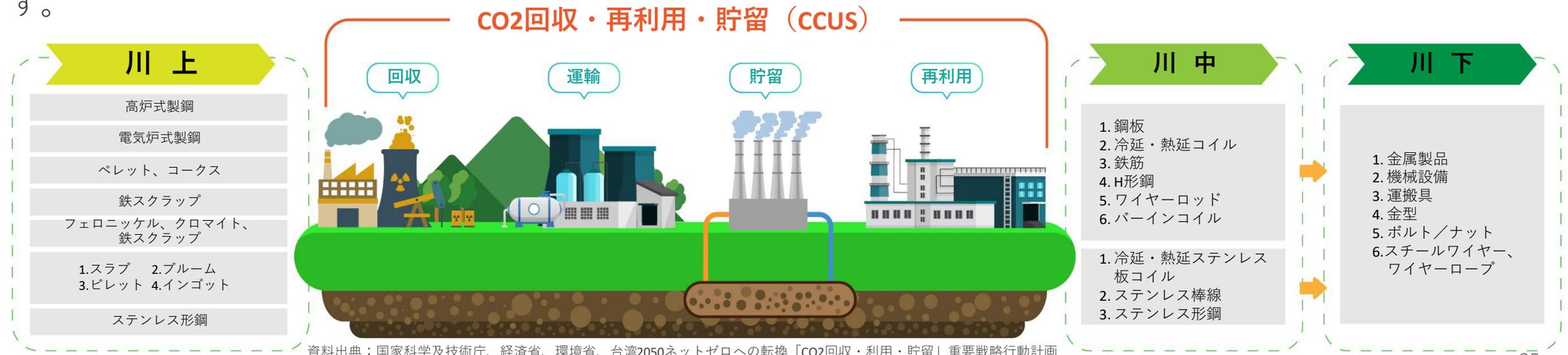


## 台湾が持つ豊かなCO2地中貯留可能性！

- 地質と容積法により評価した台湾の陸海域、盆地の塩水層の総CO2貯留量は約390億トンです。以前の研究により割り出された陸上地質構造の貯留量28億トンを加えると約418億トンになり、政府が計画した2050年までの貯留量約5億トンをはるかに上まわります。
- 台湾では、パイプライン、貯留場所、モニタリング施設等、CCUSのためのインフラがすでに完備しています。パイロットモデルエリアを利用して、CCUS技術を実際に応用した効果を実演することができます。

### 台湾政府の政策：

台湾は、2050ネットゼロへの転換のための「CO2回収・有効利用・貯留」を、「先端技術の開発」、「産業技術の向上と具体化」、「関連法規の完備」の3政策により推進しています。政府は、2025年から炭素税の徴収を開始しますが、その中でCO2排出量上位3の石油化学産業、鉄鋼産業、エレクトロニクス産業が優先徴収対象です。





### 台湾で貴金属回収トータルサービスソリューションを確立

日本の田中貴金属工業株式会社（TANAKA）は1987年に台湾に工場を建設、貴金属回収ワンストップサービスを提供しています。台湾の半導体産業チェーンに参入したのみならず、貴金属回収、精錬事業の全プロセスを台湾内に完備してサービスするために、2022年から新竹県にある湖口工場の拡張計画を始動しました。



### 日本溶剤再生業界のトップ企業が台湾でリサイクル能力を整備し、サービスを提供

日本リファイン株式会社（REFINE）は半導体産業のエコシステムが完備した台湾の将来性を見込み、台湾で有機溶剤超高純度精製、廃溶剤回収利用業務を展開しています。リファインは環境保護のトータルソリューションに取り組む、台湾で唯一無二の企業です。



### ドイツ最大のリサイクル企業が、海外における最大の投資として台湾に入居

台湾レモンドイス（REMONDIS）は2021年に15億台湾ドルを投じて彰化県の芳苑工業区にプラスチック回収処理工場を建設しました。2024年には力麗（Lealea）グループとの共同出資により「レモンドイス力麗企業」を設立、廃棄物固形燃料（SRF）製造工場を新設しました。

## 03・投資奨励措置

租税の優遇

研究開発補助

特定区域の優遇

グローバル人材採用奨励措置

# 03・投資奨励措置 租税の優遇



1

研究開発費の支出を売上税から税額控除  
最高15%

2

未処分利益を実質的な投資へ  
営利事業所得税の追加徴収免除

3

台湾で製造していない機器、計測機器装置の輸入  
輸入関税の免除

4

5G/スマート機械/情報セキュリティ製品やサービス投資金額を  
売上税から税額控除  
最高5%

5

先進的革新研究開発投資と先進的製造プロセス装置投資の控除  
控除率はそれぞれ当該年度の25%と5%

6

特許費用、著作権費用の支払い  
所得税を免除

7

バイオメディカル企業の研究開発費の支出を税額控除  
最高50%

## 03・投資奨励措置 研究開発補助

### グローバル研究開発イノベーションパートナーシップ計画

台湾の産業と相互に補完し、互恵的な外国企業が台湾の産業と研究開発センターを設立することを奨励、最高で研究開発費総額の

**50%補助**

が獲得可能

### 先進技術研究開発計画

海外企業が国内外でまだ具体的に成熟していない技術を開発する場合、最高で総開発資金の

**40-50%補助**

が獲得可能

## 03・投資奨励措置特定区域の優遇



## 一般租税の優遇

- **輸入税・貨物税と営業税を免除**  
原料／燃料／材料／半製品／機器設備
- **営業税ゼロ**  
物品と労務の海外輸出  
課税区から購入した原料、燃料、材料、半製品、機器設備

## 自由貿易港区

- 台湾で準備や補助的な活動にのみ従事し、自由貿易港区で調達、輸入、保管または輸送に従事する企業は、その販売した物品の所得について営利事業所得税の徴収を免除。
- 酒税、たばこ製品健康福祉課徴金、貿易促進サービス費、商港サービス費を免除

## 科学園區

- 研究開発補助は最高1,000万台湾ドル
- プロジェクト経費総額の50%を超える申請は不可



### 定年退職、健康保険と租税の優遇を提供

- 特定の専門家は3年間減税
- 健康保険加入制限の緩和
- 定年退職保障の強化

### 父、母、配偶者および子女の短期滞在、居留規定の緩和

- 成年した子女に台湾での労働許可証を発行
- 配偶者および子女の永住権申請規定の緩和
- 直系親族の家族訪問滞在期限の延長

### 労働、ビザ、居留各規定の緩和

- 4つの証明書を1つにした「就業ゴールドカード」
- 求職ビザ
- 外国フリーアーティストへ労働許可証を発給

### 技術出資と従業員向け株式報酬制度の課税優遇措置

- 株式取得年度の課税所得額への計上を免除
- 譲渡の際は「取得時」または「譲渡時」のいずれか低い方の価格で課税

# 04・投資サービス



## ワンストップサービス

省庁間を越える協議と  
リソースのリンク

## 土地探しへの協力

土地の取得と評価を  
サポート

## 1日以内の迅速回答

オンラインとオフラインを統合した  
迅速な処理

## サービス項目

- プロジェクト、専門スタッフ、専用担当者、全プロセスオーダーメイドサービス
- 土地、工場建物、事務所探しに協力、投資奨励優遇措置の申請作業をサポート
- 政府と民間の専門資源を結びつけ、投資企業に質の高いサービスを提供

- 中央政府や地方自治体と協調し、投資案件の行政手続きを加速
- 投資計画のコンサルティングと評価、租税と法規等のコンサルティングサービスを提供
- 人材募集コンサルティングサービスを提供



投資計画のコンサルティング  
円滑な投資 定期的なケア

# THANK YOU



2024年7月

<https://investtaiwan.nat.gov.tw>

